

LAN アクライザーの活用(10)

—CD と配信音源再生(4)—

1. 始めに

前報(9)に引き続き CD と配信音源再生の直接比較を実施していきます。

2. LAN アクライザーLACU-1 の試聴計画

今回試聴するのはバッハのオルガン曲です。

CD

KEEP PCD-438

ヨハン・セバスティアン・バッハ トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
ヨハン・セバスティアン・バッハ プレリュードとフーガ ハ長調 BWV547
ヨハン・セバスティアン・バッハ トリオ・ソナタ 第1番 変ホ長調 BWV525
ヨハン・セバスティアン・バッハ シュープラーコラール集 BWV645-650
目覚めよとわれらに呼ばれる物見らの声 BWV645
われいずこに逃れゆくべきか BWV646
尊き御神のままに BWV647
わが魂は主をあがめ BWV648
われらと共に留まりたまえ BWV649
主をあがめまつれ BWV650

ヘルムート・ヴァルヒャ (オルガン)

STAGE+

J.S.バッハ：オルガン作品集

ヨハン・セバスティアン・バッハ トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
ヨハン・セバスティアン・バッハ トリオ・ソナタ 第1番 変ホ長調 BWV525
ヨハン・セバスティアン・バッハ 喜び迎えん、慈しみ深きイエスよ
BWV768

ヨハン・セバスティアン・バッハ 前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552

ヨハン・セバスティアン・バッハ

目覚めよとわれらに呼ばれる物見らの声 BWV645
われいずこに逃れゆくべきか BWV646
尊き御神の続べしらすまに BWV647
わが主をあがめ BWV648
われらと共に留まりたまえ BWV649

イエスよ、いまぞ御空より降り来りて BWV650
ヘルムート・ヴァルヒャ (オルガン)

3. LAN アクキュライザーLACU-1 の試聴結果

上記の比較は、[スピーカーアクキュライザーの導入\(31\)](#)で報告していますが、この時点からの変更は前報(1)で述べたとおりです。

CD と STAGE+に共通して収録されている、トッカータとフーガ ニ短調 BWV565、トリオ・ソナタ 第1番 変ホ長調 BWV525、シュープラーコラール集 BWV645-650 を比較試聴していきます。

CD の再生は EMT981 により行います。

CD の再生では、オリジナルの CD ではなく廉価盤ですが、デジタル臭さはなく、オリジナルのアナログマスターの雰囲気を残しています。解像度はあまりよくありませんが、高音もペダル領域もなんとか再生できています。これらは、廉価盤の再生ながら EMT981 本来の特性に加えて、スピーカーアクキュライザーの位置変更やケーブルチューナーの追加の効果が出ているものと言えます。

STAGE+再生では、解像度は廉価盤の CD より良好で、高音が伸び、ペダル領域も明瞭です。

違いを指摘すれば、CD はウオームな響きがありますが、解像度が今一つであり、STAGE+の配信は、音の明瞭度で優っている印象です。

4. まとめ

CD と STAGE+双方に関係する変更の効果により、ともにグレードがあがり、STAGE+の配信音源の再生では、2ヶ所への LAN アクキュライザーの装着の効果で廉価版 CD より解像度がよく、総体に CD を超えている印象です。

以上